

様式第4号（第3条関係）

<p style="margin: 0;">1 危険物 仮貯蔵 承認申請書 仮取扱い</p>			
<p style="margin: 0;">3 殿</p>		<p style="margin: 0;">年 月 日</p>	
<p style="margin: 0;">申請者 4</p>		<p style="margin: 0;">2</p>	
<p style="margin: 0;">住所 _____</p>		<p style="margin: 0;">(電話 _____)</p>	
<p style="margin: 0;">氏名 _____</p>			
5	危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	電話 ()
		氏名	
6	仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地 ・ 名称	
7	危険物の類、品名及び最大数量		指定数量 の倍数 倍
8	仮貯蔵・仮取扱いの方法		
9	仮貯蔵・仮取扱いの期間	年 月 日から 年 月 日まで 日間	
10	管理の状況		
11	現場管理責任者	住所	緊急連絡先 ()
		氏名	
11	仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理		
	その他必要事項		
※ 受付欄		※ 経過欄	
		承認年月日 承認番号	
※ 手数料欄			

備考 1 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
2 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。
3 ※印の欄は、記入しないこと。

〔資料提出書記入要領〕

1. 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
2. 申請日（申請書提出日）を記入する。
3. あて先は、「東京消防庁 ○○消防署長」と記入する。
4. 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び事務所の所在地とする。
5. 「危険物の所有者、管理者又は占有者」は仮貯蔵、仮取扱いをする危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
6. 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」は、仮貯蔵、仮取扱いをする所在地を記入する。
7. 「危険物の類、品名及び最大数量」は、法別表に定める類、品名、仮貯蔵・仮取扱いをする最大数量を記入する。品名が多いときは、その品名を別紙として添付する。
8. 「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、どのような貯蔵、取扱い方法をするのか記入し、現場周辺に設けるさく等の概要も記入する。
9. 「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、年月日を記入するが、その期間は10日以内である。
10. 「管理の状況」欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入する。
11. 「仮貯蔵・仮取扱いをする理由及び期間経過後の処理」欄は、理由と期間経過後の処理を簡記する。